

令和5年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

河合振興事務所



目 次

天生の森と人のプロジェクトの推進	3
止利 ^と 仏 ^り 師 ^ぶ 伝説 ^し の伝承	4
飛騨河合音楽の郷の推進	5
地歌舞伎の伝承活動の支援	6
ゆわ〜くはうすの健康増進機能の向上	7

拡充 天生の森と人のプロジェクトの推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
8,526	県補助金 2,266	工事請負費 4,100
	ふるさと納税 6,260	負担金 2,500
(前年度予算 13,166)		その他 1,926

2 事業背景・目的

河合町のシンボルである「天生の森」は、貴重な高山植物やギフチョウが生息するなど豊かな自然生態系が維持され、初心者向けの湿原散策から登山者向けの靱糠山まで幅広いニーズに応えるフィールドとして、毎年4～5千人の自然愛好者が訪れています。

市では、この貴重な森を守り次世代へと残していくため、令和元年度に環境デザイン計画を策定し、森の保全学習をはじめ、湿原の陸地化対策やトイレの改善など課題を整理しました。令和2年度からは森の中での安全対策として分かりやすい登山情報サインの計画及び整備を進めており、令和4年度には日本サインデザイン賞「銀賞」を受賞するなど、森と人が相互に作用しあう持続可能な取組みとして高い評価を受けています。

令和5年度は、入口大型サイン整備のほか、専門家の指導に基づく湿原環境の保全活動や歩道改修など、自然の活用と保全とのバランスを考慮した森の運用を進めていきます。

3 事業概要

① 【新規】天生湿原における植生保護作業の実施 (300千円)

専門家による現地調査結果を踏まえて湿原の陸地化が進む要素を取り除くため、監視員を中心にアブラガヤ等の刈取作業を行い、貴重な湿原生態系を保全します。

② 【継続】自然環境に配慮した登山者向け情報サインの整備 (4,100千円)

公園の入口に天生の森のイメージを印象付ける大型サインと園内紹介のインフォメーションサインを整備します。なお、県産材をベースに河合町産の木酢液を塗布することで獣害を防ぐ天生県立自然公園オリジナル工法により施工します。

③ 【継続】天生の森の環境保全管理と後継者の育成 (4,126千円)

天生県立自然公園協議会を中心とした保全パトロールや獣害対策等を実施し、湿原の保全では充電式草刈機を導入することで自然環境への負荷を抑えます。また公募ボランティアによる近自然工法ワークショップを開催し、森を守り伝える後継者の育成を図ります。

担当課：河合振興事務所地域振興課 (☎0577-65-2221) 予算書：P.56

拡充 と り ぶ っ し 止利仏師伝説の伝承

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
4,537	ふるさと納税	4,537
		委託料 1,763
		工事請負費 1,300
(前年度予算 2,566)		その他 1,474

2 事業背景・目的

河合町には、法隆寺金堂の釈迦三尊像や飛鳥大仏を作ったと言われる“止利仏師”生誕の地という伝説が残っており、地元では伝説をテーマにした民話劇や匠太鼓の継承活動が行われていますが、市民の止利仏師伝説の認知度が低いのが実情です。

このことから、令和2年度に「天生の森と止利仏師研究委員会」を設置し、森と止利仏師の関係や「飛驒の匠」との関連性について調査研究を行い、その成果を企画展として一般公開したところ、約1千人が来場する大きな反響を呼びました。

令和5年度は、止利仏師伝説が色あせることなく次世代へと着実に受け継がれていく仕組みづくりに向けて、地元有志の会を発足し止利仏師の足跡の探求を継続するとともに、ゆかりの地のサイン整備や後世に残る記録資料の作成を行います。

3 事業概要

① 【拡充】地元有志の会を中心とした止利仏師伝説の探求（2,097千円）

地元の有志で構成する「止利仏師顕彰会」を立ち上げ、旧河合村時代に交流があり止利仏師作と伝えられる仏像も現存する奈良県河合町との自治体間交流を通じ、古の都で止利仏師が活躍した足跡をたどります。また、ゆかりの地ガイドツアーの催行や止利仏師を題材にしたまちづくり活動を行います。

② 【新規】止利仏師伝説ゆかりの地の案内サイン整備（1,300千円）

ゆかりの地である「聖徳太子堂跡石碑」や「飛驒の匠碑」にQRコード付きサイン看板を新たに整備します。スマートフォンでコードをかざすと詳しい解説文等が画面に表示される仕組みを取り入れることで、来訪者を悠久の歴史ロマンの世界に誘います。

③ 【新規】止利仏師企画展図録とマンガ本の復刻（1,140千円）

止利仏師を紹介する資料として、企画展の入場者に頒布した「図録」と河合村時代に作成した「止利仏師ものがたり」（マンガ本）を合わせた冊子等を作成し、ガイドツアー等のイベント参加者への配布や地元小学生の郷土学習資料として活用します。

担当課：河合振興事務所地域振興課（☎0577-65-2221） 予算書：P.56

拡充 飛騨河合音楽の郷の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
5,600	ふるさと納税(特定目的) 5,600	委託料 2,800 負担金 2,800
(前年度予算 4,710)		

2 事業背景・目的

市では、旧河合村時代より東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリストを務める金木博幸氏との御縁の下、市内の音楽文化の発展に寄与することを目的に「真夏の夜のコンサート」を開催するとともに、優れた新進演奏家を発掘・育成する「飛騨河合音楽コンクール」を実施しています。また、コンクールの最優秀者に飛騨市内での演奏機会を与えることで、飛騨の地から将来世界で活躍するプロ演奏家の輩出を目指しています。

令和5年度は、コンクールの更なる充実を図ることで、ふるさと納税を通じて全国から応援して下さる方々の共感を深めるとともに、取組みを支える市民団体の協力者を増やしながら、音楽によるまちづくりを推進します。

3 事業概要

①【拡充】飛騨河合音楽コンクールの開催 (2,112千円)

ピアノ部門の審査員1名を増員し審査体制の厳格化を図ります。また、近年の申込数の増加に応じて、開催日程を2日間に拡大します。

開催予定日：令和5年8月11日～12日 会場：飛騨市文化交流センター

②【継続】飛騨河合音楽コンクール受賞記念演奏会〔リサイタル〕の開催 (688千円)

令和4年度の最優秀賞を受賞されたピアニスト・戸村奈央さんによる記念リサイタルを開催し、更に磨き抜かれた演奏を地域の皆さんに楽しんでいただく場を提供します。

開催予定日：令和5年10月9日 会場：飛騨市文化交流センター

③【継続】市内のクラシック音楽鑑賞機会の提供 (2,800千円)

8月に国内屈指の演奏家と若手のコンクール受賞者で構成される、飛騨市でしか聴くことのできないスペシャルユニットによる「真夏の夜のコンサート(8日)」、FabCafe Hidaでの「ちょっと身近な街クラシック(10日)」、船津座での「真夏の名曲アラカルト(13日)」を開催します。クラシック音楽とふれあう機会を場所や形式を変えて催すことで、市内の音楽文化の普及・推進を図ります。

担当課：河合振興事務所地域振興課(☎0577-65-2221) 予算書：P.57

継続 地歌舞伎の伝承活動の支援

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
600	ふるさと納税	600	工事請負費	450
			修繕料	150
（前年度予算 200）				

2 事業背景・目的

河合町に伝わる地歌舞伎の歴史は古く、文化6年（1809年）にその記録が残されています。幾多の変遷を経て、平成19年2月に「河合町歌舞伎保存会」が設立され、当初は後継者の育成や公演場所の確保が課題となっていました。平成30年度に角川体育館（旧河合小学校体育館）に専用舞台が整備されたことで定期公演が可能となり、現在に至るまで活発な伝承活動が継続的に行われています。

令和5年度は舞台稽古や定期公演などを通じて浮き彫りとなってきた設備環境を整えることで、更なる会員の増加や地域の子どもたちへの伝承活動を後押しします。

3 事業概要

① 角川体育館手洗い場の改修（450千円）

舞台稽古や定期公演後の化粧（隈取）を落とす際に使用している既存の手洗い場が小学生用サイズのため、大人が無理なく使用できる高さに改修します。

② 舞台照明の共用化（150千円）

照明は役者の演技をより引き立てる重要な設備ですが、既存の舞台照明では花道までの光量が不足していることから、町内にある別の公共施設（友雪館）の舞台照明を相互に融通できるよう装置の修繕を行います。



▲飛騨かわい地歌舞伎公演



▲H30年に整備した専用舞台



▲迫真の演技で観客を魅了

担当課：河合振興事務所地域振興課（☎0577-65-2221） 予算書：P. 56

新規 ゆうわ〜くはうすの健康増進機能の向上

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,500	ふるさと納税	備品購入費
	一般財源	工事請負費
(前年度予算 0)	1,400 1,100	1,400 750 350
		手数料

2 事業背景・目的

河合町にある健康増進施設・ゆうわ〜くはうすは、広々とした浴場と適度な運動ができるトレーニング室を備え、美味しい食事を楽しめる地域の憩いの場として親しまれていますが、施設の全体的な老朽化やトレーニング機器の故障等により、利用者の健康づくりという施設本来の機能が十分に発揮されていない現状にあります。

このため、トレーニング機器のリニューアルを行うとともに、健康にまつわる講座等を随時開催することで、地元住民を中心とした健康づくり活動の拠点として、更なる利活用を目指します。

3 事業概要

① トレーニング機器のリニューアル (2,500千円)

2階トレーニング室の内装をリニューアルするとともに、ウォーキングマシンやエアロバイクなどを中心とした誰でも気軽に扱えるトレーニング機器への更新を進め、幅広い年齢層の健康づくりを支援します。

② 健康教室の開催や減塩メニューの提供 (政策間連携※)

飛騨市民病院のリハビリ専門職によるフレイル予防講座やトレーニング機器の利用方法等の説明、保健師等による健康教室を随時開催するほか、管理栄養士による食堂メニューの減塩化や健康食の提供を支援します。

※市民保健課及び地域包括ケア課予算により実施

③ 新たな利活用方法の検討 (ゼロ予算)

子どもから高齢者まで幅広い年代が気軽に集い、新たな交流が生まれる場を目指し、指定管理者や地域住民との意見交換を行いながら、施設内の遊休スペース等の新たな利活用方法の検討を進めます。



担当課：河合振興事務所地域振興課 (☎0577-65-2221) 予算書：P. 88